

別表一

番号	傍		受		令	状	通信手段の種類	実	施		期		逮捕人員数
	請求	発付	罪名（罰条）						回数	第一号	第二号	間	
一	一件	一件	大麻取締法違反（同法第二十四条第二項、同第一項、刑法第六十条） 【営利目的の大麻栽培】				携帯電話	日間 二十四	三五三 回十百	六二 回十	なし	なし	六人
二	二件	二件	覚せい剤取締法違反（同法第四十一条の二第二項、同第一項、刑法第六十条） 【営利目的の覚醒剤譲渡】				携帯電話	日間 二十二	八六二 回十百	回百五	なし	なし	十五人
三	一件	一件	覚せい剤取締法違反（同法第四十一条の二第二項、同第一項、同第三項、刑法第六十条） 【営利目的の覚醒剤譲渡等】				携帯電話	日間 二十八	回十百千 七二九	二三五 回十百	なし	なし	十人

四						番号		
六件						請求	傍	
六件						発付		
覚せい剤取締法違反（同法第四十一条の 二第二項、同第一項、刑法第六十条） 【営利目的の覚醒剤譲渡】						罪名 （罰条）	受令状	
携帯電話						の通信手段 種類		
九日間	間十六日	間三十日	間十三日	六日間	間十四日	実		
回二十五	一五二回十	六五三回十	二七回十	二二回十	五三回十	回数	施	
八五回十	八三回十	回十三	五三回十	なし	一回	第二号	期	
なし	なし	なし	なし	なし	なし	第三号	間	
人十七						数人員	逮捕	

六				五		番号	
四件				二件		請求	
四件				二件		発付	
銃砲刀剣類所持等取締法違反（同法第三十一条第一項、第三条の十三、第三十一条の三第二項、同第一項前段、第三条第一項、刑法第六十条） 【拳銃の発射、拳銃の加重所持】				【業として行う覚醒剤の譲渡、営利目的の覚醒剤譲渡】		罪名（罰条）	
携帯電話				携帯電話		通信手段の種類	
十日間	二十六日間	八日間	三十日間	二十五日間	二十五日間	実	
回百一十三	回百一十五	回百七十九	回百九十八	回四百八十四	回三百三十三	施	
七回	二回	八回	なし	回百七十四	回三十六	回数	期間
なし	一回	二回	なし	なし	なし	第一号	第二十一条第二項
なし				六人		第二号	逮捕人員数

九		八		七		番号	
二件		一件		二件		請求	
二件		一件		二件		発付	
麻薬特例法違反（同法第五条第一号、同第四号、第八条第二項、覚せい剤取締法第四十一条の二第二項、同第一項、麻薬及び向精神薬取締法第六十六条第二項、同第一項、刑法第六十条） <b>【業として行う覚醒剤等の譲渡】</b>		銃砲刀剣類所持等取締法違反（同法第三十一条の三第二項、同第一項前段、第三条第一項、第三十一条の八、第三条の三第一項、刑法第六十条） <b>【拳銃の加重所持、拳銃実包の所持】</b>		銃砲刀剣類所持等取締法違反（同法第三十一条の三第二項、同第一項後段、第三条第一項、第三十一条の八、第三条の三第一項、刑法第六十条） <b>【拳銃の加重所持、拳銃実包の所持等】</b>		罪名（罰条）	
携帯電話		携帯電話		携帯電話		通信手段の種類	
間十五日	間十五日	間三十日	間三十日	間三十日	間三十日	実	
八九千回十百	三八三回十百	四七千回十百	五九三回十百	一七六回十百	回数	施	
二六二回十百	六四回十	なし	なし	一回	第一号	期	
なし	なし	回十二	なし	なし	第二号	間	
一人		なし		なし		逮捕人員数	

十					番号		
五件					請求	傍	
五件					発付		
麻薬特例法違反（同法第五条第四号、第八号第二項、覚せい剤取締法第四十一条の二第二項、同第一項、刑法第六十条） 【業として行う覚醒剤等の譲渡等】					罪名（罰条）	受令状	
携帯電話					の通信手段種類		
日間 二 十 六	一 日 間	日間 二 十 七	日間 二 十 八	日間 二 十 八	実		
五 五 回 十 百	なし	二 七 四 回 十 百	回 十 百 千 八 九 二	五 九 四 二 回 十 百 千	回 通 話 数	施	
九 九 回 十	なし	回 十 百 三 四	なし	八 回	第 一 号	期 間 第 二 十 一 条 第 一 項	
なし	なし	なし	回 十 百 四 九	四 七 四 回 十 百	第 二 号	間	
人 十 七					数 人 員	逮 捕	

（注一） 「携帯電話」はPHSを含む。  
 （注二） 「麻薬特例法」とは「国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律」をいう。

## 別表二

(平成二十五年)

番号	傍		受令状	新たに逮捕した人員数
	請求	発付		
四	二件 <small>(報告済み)</small>	二件 <small>(報告済み)</small>	罪名 (罰条)	一人
七	三件 <small>(報告済み)</small>	三件 <small>(報告済み)</small>	銃砲刀剣類所持等取締法違反(同法第三十一条第一項、第三条の十三、第三十一条の第三第二項、同第一項前段、第三条第一項、刑法第六十条) 組織的犯罪処罰法違反(同法第三条第一項第七号、第四条、刑法第九十九条、第六十条) 【拳銃の発射、拳銃の加重所持、組織的な殺人未遂】	十六人
九	六件 <small>(報告済み)</small>	六件 <small>(報告済み)</small>	麻薬特例法違反(同法第五条第四号、覚せい剤取締法第四十一条の二第二項、同第一項、刑法第六十条) 【業として行う覚醒剤の譲渡】	八人
十	三件 <small>(報告済み)</small>	三件 <small>(報告済み)</small>	麻薬特例法違反(同法第五条第四号、覚せい剤取締法第四十一条の二第二項、同第一項、刑法第六十条) 【業として行う覚醒剤の譲渡】	一人
十一	七件 <small>(報告済み)</small>	七件 <small>(報告済み)</small>	麻薬特例法違反(同法第五条第四号、第八条第二項、覚せい剤取締法第四十一条の二第二項、同第一項、刑法第六十条) 【業として行う覚醒剤等の譲渡】	十二人

(注一)

「麻薬特例法」とは「国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律」をいい、「組織的犯罪処罰法」とは「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」をいう。

(注二)

「新たに逮捕した人員数」とは、平成二十五年中に傍受を実施した事件に関連して、平成二十六年中に新たに逮捕した人員数をいう。

(注三)

平成十四年から平成二十四年までに傍受を実施した事件に関連した平成二十六年中の新たな逮捕者はなかった。